

成果報告会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	✓
昨年度までの“環境整備”を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備”と“支援チーム派遣（事業化支援）”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：NPO 84 プロジェクト

活動地域：高知県

活動におけるテーマ・キャッチコピー：

日本一の森林率

84%をブランディングする



PROJECT 
いちばん森が多い国 = 高知
Forest percentage = 84%



日本一の森林率

84%を

ブランディングする

84%の森こそが、もっとも高知の個性であると考え、「はちよん」と笑いを持って呼ぶことで人と森とをつなげ、コミュニケーションを深めてく活動してきました。

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

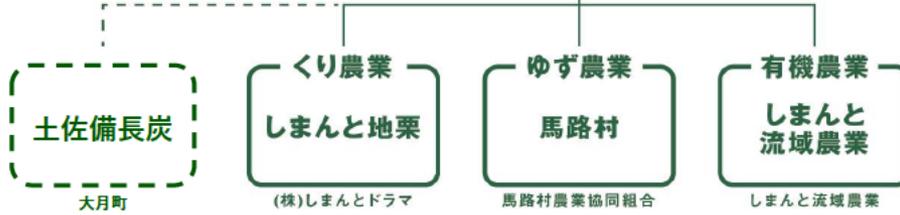
都市圏

馬路村、安芸市、宿毛市、日高村、土佐清水市

84 小さな林業
はちよん (自伐型林業)

森にとけこむ小さな作業道で
土砂災害を防止し下流の集落を守る。
森林の生長量を超えない
素材生産で森を守る。

自伐型林業の
参入希望者の移住



小さな林業と〇〇業の組み合わせで
合計年収500万円以上に。
家族四人が豊かに暮らせる地域社会へ。
不足する農園管理の担い手が増える。

84
はちよん

フォーラム
馬路村

84
はちよん

フォーラム
林業女子

84
はちよん

フォーラム
小さな林業
の人々

84
はちよん

フォーラム
安芸市

84フォーラムを各地で開催し、
小さな林業を理解してもらおう。
日本一の森林率である
84%の森に目を向けてもらおう。



PROJEC
いちばん森が多い国=高知
Forest percentage=84%



84 ひのき風呂
(株)しまんとドラマ



84 ギフトボックス
馬路村農協



84 CO2の缶ヅメ
大川村木星会



84 炭
西岡燃料(株)



84 環境基本計画
高知県



84 はざい
(株)フタガミ



84 もくめん
(有)戸田商行



84 の森
佐川町



84 によひノキウォーター
trette (株)



84 CARひのき
(株)フタガミ



84 ぽけっとひのき
(株)しまんとドラマ



84 ハコハウス
(株)フタガミ



84 ユニフォーム
森社林産組合



84 CO2吸収証書
高知県



84 封筒
高知県

今年度取り組んだこと

84プロジェクトとは 森林率84%、高知県は日本一の森林県です。私たち84プロジェクトは、84%の森こそが、もっとも高知の個性であると考え、「はちよん」と笑いを呼んで呼ぶことで、人と森をつなぐコミュニケーションを深めていこうと、2009年8月4日から活動してきました。そうして12年間、小さな林業や森のことなどを楽しく勉強しているうちに時代は変わり、気づけば、日本一の森林率を誇る高知県がローカルSDGsのどつきぎに立っているのです。高知県の一歩の弱点でもあった森林が、一番の強みになろうとしています。県全体を「はちよん」という親しみの呼称で、森本来の役目・価値をブランディングしていく、木材のブランド力を高めるなど、日本一の森林率を誇る政策に生かしたいと願っています。



特定非営利活動法人
NPO84 はちよんプロジェクト
www.kochi-84project.jp
NPO法人84プロジェクト事務局
高知市高知市上本宮207-1
TEL:090-7621-5614



1 開会のあいさつ 13:30~13:45

中谷元 衆議院議員
山崎出 馬路村村長
東谷望史 馬路村農協組合長
梅原真 NPO84プロジェクト代表



中谷元 衆議院議員

1957年高知市生まれ。土佐中・土佐高を経て、防衛大学校に進学。1990年2月、第39回総選挙において初当選。以来、連続当選を果たし、10期目。防衛庁長官、防衛大臣、安全保障法制担当大臣、衆議院総務委員長、自由民主党副幹事長などを歴任。

2 基調講演 13:45~15:00

「小さな林業」を実践し、日本各地で指導を行っている中嶋健造さん。馬路村で「ゆず農産」を兼業することで、収入を増やしながら、土砂災害を防止する森林をつくることのできる他に、獣害を防止する効果もある「小さな林業」についてくわしく伺います。



田中拓美 NPO84プロジェクト事務局長

1948年高知市生まれ。高知県庁に36年間勤務し退職後、地域振興や地域産業の活性化を目指して活動する。岡万市雇用創造促進協議会(事務局長)などに従事し、2020年6月より退職に就任。

「小さな林業の大きな可能性」
地方創生と土砂災害防止のカギ「自伐型林業」
講師：中嶋健造



山崎出 馬路村村長

1964年うまれ。馬路村農業産地地区出身。馬路村役場職員として32年間勤めたあと、2017年に馬路村副村長に就任。2018年より馬路村村長となる。

3 意見交換会 15:00~15:55

馬路村森林組合長・清岡哲也さんや、馬路村農協組合長・東谷望史さんを迎えて、馬路村で「小さな林業」を始めるには？「小さな林業」で収入はどうなる？どんな作業を行う？といった具体的な質問や率直な意見を交わしていきます。



東谷望史 馬路村農協組合長

1952年高知県馬路村生まれ。1973年高知県馬路村農協副組合長就任。以来、ゆずの生産加工販売に携わる。現・馬路村農協代表理事組合長。

司会：田中拓美 NPO84プロジェクト事務局長
山崎出 馬路村村長
東谷望史 馬路村農協組合長
清岡哲也 馬路村森林組合長
中嶋健造 NPO自伐型林業推進協会代表
梅原真 NPO84プロジェクト代表



清岡哲也 馬路村森林組合長

1959年高知県馬路村生まれ。1980年より馬路村森林組合で勤務し、2019年より馬路村森林組合の代表理事組合長に就任。



中嶋健造 NPO自伐型林業推進協会代表

1962年高知生まれ。高知県の町在住。愛媛大学大学院農学研究科修了。2003年、NPO法人「土佐の森・数珠庵」設立に参画し、現在理事長。2014年に全国の自伐型林業産地を支援するNPO法人「自伐型林業推進協会」を立ち上げる。

4 閉会のあいさつ 15:55~16:00

山崎出 馬路村村長
東谷望史 馬路村農協組合長



梅原真 NPO84プロジェクト代表

デザイナー。武蔵野美術大学客員教授。高知市生まれ。土佐山田在住。「職」をはじめとする「農業」の再生。「ゆず」をはじめとする「農業」の再生。「砂流美術館」をはじめとする「地域」の再生。などを手掛けてきた。「土地の力を引き出すデザイン」として、「森林」の再生をめざす。



清岡 哲也

東谷 望史

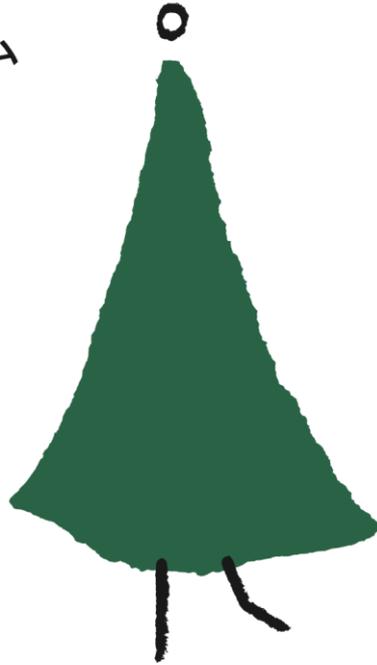
山崎 出

田中 拓美

袖

84
はちよん
フォーラム

林業女子



林野庁のデータによると、2005年に約44万人だった林業従事者は、10年には約4万8千人にまで減少しています。そのうち林業に携わる女性の比率はわずか6%ですが、

講師 井上有加
林業女子会 発起人



「林業女子会」は全国24都府県にあり、女子会ならではのコミュニティをつくっています。
「女性もかわりやすい林業」というイメージを広げることで、林業に関わりたい人が増えるきっかけをつくりたいと思っています。

12/4 SAT 2021
14:00 ▶ 16:30
高知市立自由民権記念館
民権ホール 定員66名・要予約
右のQRコードからご予約ください。
84プロジェクトウェブサイトからも
予約することができます。
主催:NPO84プロジェクト 参加費:無料

84プロジェクト とは

森林率84%。高知県は日本一の森林県です。
 私たち84プロジェクトは、84%の森こそが、もっとも高知の個性であると考え、「はちよん」と笑いを持って呼ぶことで、人と森をつなぐコミュニケーションを深めていこうと、2009年8月4日から活動をしてきました。そうして12年間、小さな林業や森のことなどを楽しく勉強しているうちに時代は変わり、気づけば、日本一の森林率を誇る高知県がローカルSDGsのとっさきに立っているのです。高知県の一歩の弱点でもあった森林が、一番の強みになろうとしています。
 県全体を「はちよん」という親しみの呼称で、森本来の役目・価値をプランディングしていく、木材のブランド力を高めるなど、日本一の森林率を誇る政策に生かしたいと願っています。



特定非営利活動法人
 NPO84 はちよんプロジェクト
www.kochi-84project.jp
 NPO法人84プロジェクト事務局
 高知県高知市上本宮207-1
 TEL: 090-7621-5014

はちよんフォーラム

司会：島中智子

84のツカイカタ 84農(高知産科)、84もくめん(伊藤農行)、84はさい(ワタガミ) 14:00~14:25
 84CO2吸収証書(高知県)、84助産チエ(高知トップ教員)など

1 林業女子 14:30~15:10
 井上有加 林業女子会発起人
 全国24都府県で、女子会ならではのコミュニティをつくっている「林業女子会」。井上有加さんは、京都大学在学中に「林業女子会」を立ち上げました。井上さんがどのように林業に携わってきたのかをお話いただきます。

2 里山百姓 15:15~15:35
 川村一成 里山農業百姓
 里山で季節ごとに様々な産物を、年間を通してまるごと活用し、百姓を営んでいる川村一成さん。年末には、家のまわりにある、松・竹・梅・樫の木などを集めて「84門松」をつくっています。 休憩 15:35~15:40

3 林業女子 × 里山百姓 15:40~16:20
 井上有加・川村一成
 井上有加さんは、林業女子会での活動やコンサルティング会社での勤務など、これまでに林業の川上から川下まで関わってきた経験があります。林業に対するカンガエカタは？など、川村一成さんと対談します。

閉会のあいさつ 梅原真 NPO84プロジェクト代表 16:20~16:30

林業女子



里山百姓

はちよん対談



INOUE YUKA

井上有加



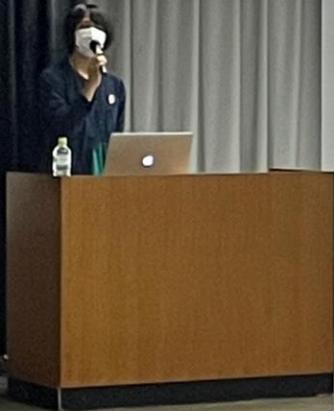
1987年生まれ、滋賀県出身。京都大学農学部、同大学院農学研究科で森林科学を専攻。在学中に立ち上げた「林業女子会」が国内外に広がる「1upメント」となった。大学院卒業後、林業・木材産業専門のコンサルティング会社に5年間勤務。現在は高知県安芸市で嫁ぎ先の家業である工務店を元とともに経営しながら、林業女子会@高知の代表も務める。

KAWAMURA ISSEY

川村一成



1949年生まれ。南国市奈路という中山間地に住み続け、畑田で米を作り、春は菊、秋は四万竹、盆と彼岸にはシシミチ餅を揉み、年末には家の回りで松・竹・梅・樫の木・樫の木を採り集めて「84門松」を作って出荷するなど、農を軸に一年をデザインし、生活を回している。高知大学農学部地域農学科卒業後、南国市役所勤務を経て1976年退職。



84
はちよん

フォーラム

小さな林業の人々
3ファミリーのドキュメント



川端さん夫妻 [本山町]

夫・川端俊雄さん：1973年生まれ大阪府出身。塗装業から転職し、本山町移住後林業を始める。妻・川端聖佳さん：1991年生まれ。滋賀県出身。「鳥」ある暮らしを求め海外を訪れていたが、安田町で行われたセルフビルドのワークショップをきっかけに帰国後、本山町に移住。「ヤドリギ」という屋号で林業を軸に製茶業や木材加工などを夫婦ふたりで営む。ウェブサイトやYoutubeで情報発信も行う。直近の目標はセルフビルドで新居建設。



西脇さん夫妻 [佐川町]

夫・西脇康之さん：京都出身。毎日船釣りができる生活を夢見て田舎暮らしを目指す。2016年佐川町域おこし協力で責任。2019年「佐川キコリーズ」結成。妻・西脇亜紀さん：高知出身。夫に誘われた初めての船釣りでは13cm程の船の引きの強さに驚き、船釣りにはまる。夫に伴い佐川町へ「ターン」後、2017年「船屋仁波川」開業。夫婦で季節ごとに複数の仕事を掛け持ちしながら年間100日以上の船釣りをこなし、忙しい田舎暮らしを満喫中。



谷吉さん夫妻 [四万十市]

夫・谷吉勇太さん：1985年生まれ。四万十市出身。京都からUターンしたのち、宿泊型自然体験施設、四万十楽舎にてカヌーガイドを勤める。結婚を機に、夏季は四万十川でサップとカヌーの体験ができる「ウィズリバー」を営み、冬季は夫婦で林業を行っている。妻・谷吉栞さん：1988年生まれ東京出身。2012年に田舎で働き隊として半年間四万十市に来た際、自伐型林業に出会い、自伐型林家養成塾などで技術を学ぶ。

「小さな林業」とは、森に溶け込み、使い続けられる壊れない作業道を設けながら、森の成長を超えない「多様な間伐」を家族や仲間です。今後は、本山町・佐川町・四万十市で、「小さな林業」を実際に営む3ファミリーから、その暮らしぶりを伺います。

2月26日(土) 2022
14:00—16:30
かるぽーと11F大講義室
定員120名・参加費無料・予約不要
主催：NPO法人84はちよんプロジェクト

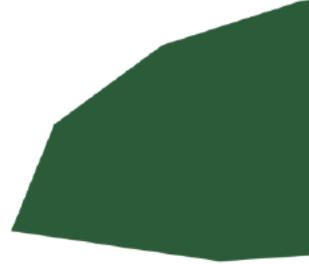
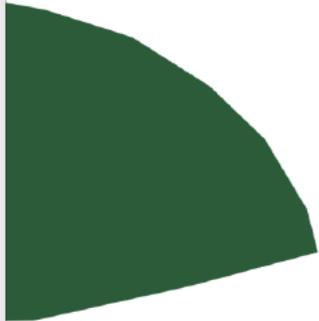
84

はちよん

フォーラム
安芸市

林業の多様性

小さな林業



2022

3月19日(土)

14:00 → 16:30

安芸市防災センター 3F



〒784-0020 高知県安芸市高浜190-1
主催＝安芸市・NPO84プロシエ外 参加費＝無料

土砂災害の防止や、被害を防止する効果があり、持続的に経済活動ができる「小さな林業」をくわしく解説します。「小さな林業」を営む鳥取県智頭町の大谷嗣夫さんと、高知県佐用町の津川康伍さんをお呼びして、現場の声も伺います。

講師 中嶋健造
白伏里林業推進協会代表



「小さな林業」とは、森に掛け込み、使い続けられる持続可能な作業道を開きながら、森の広さを超えない距離な間伐をくりかえす「多間伐林業」を家族や仲間と小規模にこなす林業です。

2

小さな林業に関心のある 市町村や団体との協議



3

意見交換会（四国EPOの支援）

- ・ 環境省
- ・ 金融庁
- ・ 環境省四国事務所
- ・ 四国EPO

など計9回

地域プラットフォームの変化

1

84ロゴマーク活用

取組のひろがり



2

馬路村・安芸市で

「小さな林業・地域おこし協力隊の採用」や
「林業専門研修の実施」の計画が進行中



ボトルネックや新たに見えてきた課題

1 小さな林業に対する支援の不足

国 (林野庁)

大規模林業の
森林組合や
素材生産事業者への
支援のみ。

高知県

小さな林業への
支援をしてはいるが、
最重要である
作業道整備補助金の
予算が大幅に不足。

市町村

「森林環境譲与税」の
配分を受けながらも、
56%が未使用になり、
有効に活用されず。
作業道整備補助金を
予算化していない
市町村が多い。

2 地域住民の小さな林業に対する意識

かつての中山間地域では半農半林があたりまえ。
自分たちで伐採・搬出していたが、



森林組合等に委託するようになり、
その後の原木価格の低落で産業として成立しなくなった。



「儲からない」や「自分たちの仕事ではない」という意識が
住民だけでなく市町村の行政まで定着してしまっている

今後の展望

1

国と高知県へのアプローチ

環境省と
連携を強化

人と自然の
共生地域OECMや
エコパークなど

高知県
小規模林業
推進協議会
の活用

2

小さな林業の普及推進に関心のある
市町村や団体へのアプローチを継続

黒潮町

香南市

宿毛市

日高村

3

84フォーラムの開催を継続

小さな林業の魅力や可能性を地域住民・行政に伝える



フォーラム
四万十町



フォーラム
安芸市

• • • •